

刑務作業の広報誌

Henro

ヘンロ

2024

No.3



藍を建てる

徳島県 徳島刑務所

阿波藍 徳島は日本一の藍の産地

Japan Blue ～ 海外において、日本の藍染はこう呼ばれ、珍重される独特の魅力を持っています。サッカー日本代表を「サムライブルー」と称し、藍色のユニフォームで統一しているなど、日本を代表する色は「藍色」と言ってもいいのかもしれない。

「出藍の誉れ」「青は藍より出でて藍よりも青し」など、人生を語ることわざにも藍染がたとえられるように、藍染は日本人の心に深く根付いた色と言えるでしょう。



全国各地において藍が生産されていますが、その中でも、徳島で作られる藍を「阿波藍」といいます。「阿波藍」の栽培は、古くから吉野川流域の広い地域で栽培されてきました。

某テレビ番組でも取り上げられたように、吉野川は「四国三郎」と称される全国有数の大河で、暴れ川としても有名でした。徳島県北部を横断するように流れる吉野川は、度重なる氾濫により、肥沃な土壌が河川の流域に形成され、その土壌にあった植物として藍が栽培されるようになったともいわれています。

江戸時代の中期には、庶民の着物の素材として広く木綿が流通しました。その木綿を染めるために藍が用いられるようになると、「阿波藍」は、阿波藩(蜂須賀家)の手厚い保護を受け、藍商人の活躍により全国に広まりました。その後明治36年ごろまで「阿波藍」は全国の約4分の1を占める日本一の生産量を誇り、「阿波藍」は徳島を代表する生産物となりました。

現在でも、全国の藍の栽培面積30ヘクタールの70%を占める21ヘクタールは徳島県が占めており、日本一の「阿波藍」の産地なのです。



藍を建てる

藍の成分である藍色のindigo（インディゴ 靑藍）は水に溶けない色素のため、藍染めを可能にするためには、水に溶ける白藍にする必要があります。

藍は高アルカリの領域で醗酵する特異な性質を持っているため、灰汁や石灰などが必要になります。一度発酵させることにより、indigoが水に溶ける白藍に変わり、繊維に吸収させ、酸素に触れさせ

ることによって、繊維の中で再びindigoに戻ることによって、藍色に染まります。

この一連の不可欠の操作を「藍を建てる」といいます。

徳島刑務所では30年以上前から、「藍を建て」、様々な藍染め製品を、連綿と作り続けてきました。

藍染めの工程

6月下旬から8月下旬にかけて収穫される阿波藍は、乾燥後、醗酵させて「すくも」と呼ばれる染料になります。徳島刑務所においてはこのすくもを藍染の原材料として調達し、使用します。



「すくも」を桶に入れて、灰汁（あく）や石灰とともに水に入れて攪拌し、さらに発酵させて染液を作ります。



布を染液に浸け、空気にさらすことを繰り返すことで、藍が酸化し、深く味わいのある「ジャパンプルー」に染まります。



「表面が青紫色になり、染液が褐色になります。『藍の花』と呼ばれる藍色の泡ができると、布を染めることができるようになります。」



徳島刑務所で製作された藍染製品

徳島刑務所で製作された「刑務所作業製品」は、全国の矯正展などで購入することができます。

矯正展とは!?・・・刑務所の役割や現状などの矯正行政について、国民のみなさまに知っていただくための刑務所などが主催するイベントです。



藍染女性用帽子



藍染めバッグ



藍染めテーブルマット



藍染め名刺入れ

当所で長く藍染指導を行っている技術指導員のコメント

藍染は「生きもの」と言われ、非常に繊細さが求められます。当所では2年間の職業訓練で基礎的な藍染め技術を習得した後に、本格的な製品製作に入ります。就業者は、最初はうまくいかず失敗の連続ですが、時間をかけ、自主的に何度も

繰り返すうちに、人間的にも成長し、藍染めの技術が身に着きます。

うまく染め上がった時は、何にも代えがたく、社会に貢献できる達成感を得るようです。

徳島刑務所で製作された藍染製品以外の製品



バリスタバッグ



AWA 街歩き
リュック

絵本棚



多目的 BOX



木製品



本革紳士靴



本革婦人靴

徳島刑務所の紹介

徳島刑務所は、徳島市の最西部、周囲を山々に囲まれた閑静な郊外にあります。

当所では、刑期10年以上の長期刑受刑者を主に収容しています。長い受刑生活に伴う、熟練した高度な技術に裏打ちされた刑務作業製品を製作しています。

当所の作業製品は、藍染め製品のほかに、紳士・婦人靴、バッグ類、木工製品類及び印刷製品があります。いずれの製品も息の長いリピーターが多く、高い品質から長く愛される刑務作業製品を製作しています。



問 合 せ 先

広報誌「ヘンロ」についての御意見や御要望は、高松矯正管区へ、また、製品製作依頼などは、高松矯正管区または下記刑務所へお問い合わせください。

徳島刑務所

〒779-3133 徳島県徳島市入田町大久 200-1
TEL : 088(644)0114

高松刑務所

〒760-0067 香川県高松市松福町2-16-63
TEL : 087(821)6119

松山刑務所

〒791-0293 愛媛県東温市見奈良1243-2
TEL : 089(964)2376

高知刑務所

〒781-5101 高知県高知市布師田3604-1
TEL : 088(866)5351



Henro

〈企画・取材・編集〉 高松矯正管区成人矯正第二課／徳島刑務所
〈協 力〉 徳島県／公益社団法人徳島県物産協会
〈発 行〉 高松矯正管区 〒760-0033 香川県高松市丸の内 1-1 高松法務合同庁舎 8F
TEL:087-822-5715 (直通)